

チャレンジする Someone NEWS

～挑戦者の履歴書

第7回

河合弘之氏 (弁護士、原自連幹事長・事務局長)

論理とエンパシーに根差した裁判&法務戦士

一般社団法人 洗楓座 代表理事 佐藤 建吉

原自連の会見より

10年目

2011年3月11日の東日本大震災では2万人を超える人々の命を奪い、併発した東京電力福島第一発電所のメルトダウンという未曾有の事故は、今なお3万人を超える住民の故郷を奪った。あれから10年が経過した。この災禍に如何に向き合えばいいのだろうか。

「過現未」講演会に登壇した河合氏(過去・現在・未来)による防災対策



河合弘之氏(右)が講演会に登壇している様子。白板上に図表が描かれている。

河合弘之氏の引揚げ後、父が電力開発株式会社勤務のサラリーマンであった。父は、機転を利かし、捕虜としてシベリア抑留を逃れることができた。1年後、一家6人は、引揚げのため無蓋貨車に載せられ遼寧省の葫蘆島にたどり着いた。が、弟はこの移動で亡くなり引揚げ船で水葬された。河合氏は、極度の栄養失調であった。上の栄養失調であった。上陸した博多から父親の実家の兵庫原山に帰ったが、その到着が一日も遅ければ、自身も死ぬ前であったという。「小柄で蟹股」な河合氏の現在の体形は、この時の後遺症であると語る。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏の引揚げ後、父が電力開発株式会社勤務のサラリーマンであった。父は、機転を利かし、捕虜としてシベリア抑留を逃れることができた。1年後、一家6人は、引揚げのため無蓋貨車に載せられ遼寧省の葫蘆島にたどり着いた。が、弟はこの移動で亡くなり引揚げ船で水葬された。河合氏は、極度の栄養失調であった。上の栄養失調であった。上陸した博多から父親の実家の兵庫原山に帰ったが、その到着が一日も遅ければ、自身も死ぬ前であったという。「小柄で蟹股」な河合氏の現在の体形は、この時の後遺症であると語る。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

あの日、筆者は千葉大学の鉄筋コンクリート5階建の1階にいた。ゆっくりと長く揺れ、本棚の本の落下を抑えるように支えた。筆者は、山形県鶴岡市の生まれ。東京オリンピックが開催された1964年6月、中学2年の時に新潟地震を経験した。鶴岡は震源地に近い。教室の机が、左前方に移動した。机の下に隠れるという状況ではなかった。グラウンドに避難すると水たまりがシブキを上げた。大地の揺れと叫びを目前で体験した。

津波は直接には体験していないが、チリ津波がその4年前1960年の小学4年の時であった。大人たちがニュースに騒いでいるのを見て、月1日に来年1月まで開

今年4月26日は、チェルノブイリ原発の事故から25年であった。1986年の4月28日は、フランスの鉄道に乗っていた。ラジオを聴いていた。『過去から学ぶ…究極の安全&防災対策とは?』を開催した。その講座で、河合弘之氏の引揚げ後、父が電力開発株式会社勤務のサラリーマンであった。父は、機転を利かし、捕虜としてシベリア抑留を逃れることができた。1年後、一家6人は、引揚げのため無蓋貨車に載せられ遼寧省の葫蘆島にたどり着いた。が、弟はこの移動で亡くなり引揚げ船で水葬された。河合氏は、極度の栄養失調であった。上の栄養失調であった。上陸した博多から父親の実家の兵庫原山に帰ったが、その到着が一日も遅ければ、自身も死ぬ前であったという。「小柄で蟹股」な河合氏の現在の体形は、この時の後遺症であると語る。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

津波は直接には体験していないが、チリ津波がその4年前1960年の小学4年の時であった。大人たちがニュースに騒いでいるのを見て、月1日に来年1月まで開

今年4月26日は、チェルノブイリ原発の事故から25年であった。1986年の4月28日は、フランスの鉄道に乗っていた。ラジオを聴いていた。『過去から学ぶ…究極の安全&防災対策とは?』を開催した。その講座で、河合弘之氏の引揚げ後、父が電力開発株式会社勤務のサラリーマンであった。父は、機転を利かし、捕虜としてシベリア抑留を逃れることができた。1年後、一家6人は、引揚げのため無蓋貨車に載せられ遼寧省の葫蘆島にたどり着いた。が、弟はこの移動で亡くなり引揚げ船で水葬された。河合氏は、極度の栄養失調であった。上の栄養失調であった。上陸した博多から父親の実家の兵庫原山に帰ったが、その到着が一日も遅ければ、自身も死ぬ前であったという。「小柄で蟹股」な河合氏の現在の体形は、この時の後遺症であると語る。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。

河合弘之氏は、中国は979年、リッカー再建(1984年)、つぼ八事件(1987年)、秀和vs忠実屋・いなげや事件(1989年)、イトマン事件(1987年)、福岡ドーム事件(1993年)、光進の国際航空事件(1978)、蛇の目ミシン事件(1989年)などがある。これらのビジネス案件でも、依頼者側に立ち、論理で解決に尽くした。